



TEAM238 かわらばん

2009年(平成21年)9月1日
第1号

藤沢市地域経営戦略100人委員会会報

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 第1回会議を開催しました
- 3 新総合計画とTEAM238
- 4 今後の検討テーマ
- 5 課題解決のチカラ
- 6 ワールド・カフェとは？

はじめに

藤沢市地域経営戦略100人委員会は、地域の個性やニーズにあった地域完結型のまちづくりを進めるために、地域や市域での課題の抽出や、課題の解決を進め、新総合計画の策定と実行に対する意見提案などを行う会議です。

委員は、各地区の地域経営会議などからの推薦委員と一般公募委員により構成され、委員会は、まちづくりコーディネーターにより運営されます。

この「TEAM238 かわらばん」は、地域や藤沢の将来像を描くためにご協力いただいている委員の皆さんの委員会での活動をご紹介するとともに、委員会での会議の進め方など、手法についてのご説明をいたします。

第1回会議を開催しました

去る8月22日、藤沢市消防本部南消防署講堂にて第1回藤沢市地域経営戦略100人委員会を開催しました。

開会にあたり、海老根市長より、夢とロマンあふれる藤沢の将来像にお力添えをいただきたい旨の挨拶があり、その後、長瀬経営企画部長より、新総合計画策定の基本的な考え方や委員会の役割などの説明がありました。

コーディネーターからは、地域経営戦略100人委員会での生活に根差した実感のある将来のための計画策定に当たり、委員のもつ藤沢のよさや課題をより多く提供いただき、共有をしていきたいということ、委員会が藤沢の将来を描き、つくっていくという気持ちで、一体となって進んでいきたいというお話がありました。

その後、「ワールド・カフェ」という手法によって、「TEAM238を成功させるには」「藤沢らしさとは」の2つのテーマについて、気持ちを楽にした話し合いの中から、多くの声をいただきました。

冷房の効が悪く、非常に蒸し暑い中、熱心な議論と新しい手法へのチャレンジをいただき、ありがとうございました。



藤沢市の総合計画

現在の総合計画は、「ふじさわ総合計画2020」で、1999年(平成11年)に策定されました。

基本構想は、「湘南の海にひらかれた生涯都市藤沢」とされ、人・交通・情報等のネットワーク、自然環境、既存産業の活性化、安全・安心、情報公開、生涯学習・地域文化、市民協働などが基本目標に定められています。

既実現されているテーマも多いと思いますがいかがでしょうか。

新総合計画の策定とTEAM238

藤沢市の高齢化

昨年度実施した人口推計では、人口は、2020年(平成32年)にピークを迎え、その後は減少に転じるとともに、高齢者人口は、2035年(平成44年)には人口構成で32%を超え、ほぼ3人に1人が高齢者という社会になると予測しております。

藤沢市の高齢化率は、2000年(平成12年)が13.3%、2009年(平成21年)が19.1%となっています。

藤沢市の少子化

藤沢市においても少子化は例外ではなく、2005年(平成17年)には、既に65歳以上の割合が、14歳以下の割合を上回っています。

少子化が就労人口の減少や人口減、税収減などの様々な要因に影響をします。

近年、様々な子育て支援策が実施されています。

現在の総合計画「ふじさわ総合計画2020」は、1999年(平成11年)に基本構想が策定されました。

当時は、2020年(平成32年)を目指した人口増加社会、経済成長社会を前提にしていたが、市内ではその後、100年に1度といわれる経済不況による工業出荷額の低下、企業の撤退などの産業の課題が発生するとともに、高齢化が急速に進みました。

また、後期高齢者医療制度、障害者自立支援法の施行などの国レベルでの社会制度の変化や地球温暖化に見られるような地球規模の課題も、市民生活の中に影響を与えてきています。

市内の交通ネットワークは順調に整備が進んできたところですが、地球環境に配慮しながら、成熟社会の市民生活において、いかに有効に機能していくか、ネットワークの上で藤沢が単なる通過点とならず、いかに産業、コミュニティ、環境をつないでいくかという発想の転換も重要になっています。

このような状況の中で、藤沢の将来像も、新たな発想とビジョンをもとに描きなおすことが必要になり、新総合計画の策定にいたりました。

新総合計画は、新しい時代にふさわしい、真に生活に根ざした、市民の皆さんのためのものであるとともに、藤沢らしさを大切にしたい計画を目指しています。

そのため、地域経営会議やこの地域経営戦略100人委員会、市民1000人討論など、地域、分野で日々ご尽力いただいている、多くの藤沢を愛する市民の皆さんの想いや理想、悩みをお寄せいただき、皆さんで共有しながら策定をしたいと考えています。

市は新総合計画の案を持っていません。コンサルティングも入りません。市内の大学と市と、そして皆さんと一緒に考え、作り上げていくことを大切にしていきます。

地域経営戦略100人委員会は、その中で、市民活動のプロである委員の皆さんが感じていることをできるだけ多くの委員から、できるだけ多くの声を寄せていただき、その声を委員の皆さんで共有しながら、実際に総合計画を形にする総合計画審議会や地域経営会議との橋渡しをする役割を担っています。

初めての取り組み、新しい手法で慣れないこともあろうかと思いますが、これからの社会の担い手は、行政ではなく市民の皆さんであり、行政は皆さんの意思の実現をお手伝いしたり、行政にしかできないサービス、役割を分担していくという方向に進んでいます。

是非、楽しみながら、いろいろなことにチャレンジしていただいて、世界にひとつだけの藤沢を創造していきましょう。



新林公園

今後の検討テーマ

第1回の委員会では、「TEAM238を成功させるには」と「藤沢らしさとは」をテーマにしました。

新総合計画の策定の中では、生活の価値を高めるために、藤沢にある「良いところ」「悪いところ」を棚卸しして、それに藤沢らしさというものを合わせていくという活動に位置づけられます。

良いところは伸ばしつつ、悪いところは改善をしていく必要がありますが、その時に「どこがどのように良いのか(悪いのか)」を洗い出すことによって、目指す方向や方法を具体化することができます。

次回までは、「藤沢らしさ」をテーマに、藤沢の自慢、象徴、魂になる良いものを見つけていき、その後、課題の抽出や目標、指標(何がどのように、どの程度まで達成されなければならないかを示す物差し)について考えていきます。

地域経営会議では、既に地域の課題についてご議論いただいておりますが、一度事務局に提出いただき、全体スケジュールの中で、地域ごとの個性や特徴をいただきながら、市全体の課題を含め各活動分野の皆さんと一緒に考える段階で、検討の財産とさせていただきたいと考えています。

今しばらくお時間をくださいますようお願いいたします。

課題解決のチカラ

平成20年度第1回市政モニターアンケート「市民活動について」では、「市民活動が地域の活性化や課題解決に寄与していると思うか。」の問いに、「寄与していると思う。」と答えた人が全体の75.0%となっています。

委員の皆さんの課題解決力は、市民の皆さんから高い評価を得ています。しかし、更に力を結集させ、連携しあうことで、皆さんの力が一層発揮される可能性があります。

また、新しい手法は、新しいつながりや出会い、ネットワークのきっかけでもあります。同じ課題を分析し、解決策を見いだすことによって、課題が目標に変わり、理想像が築かれていきます。

「成長に限界なし」という言葉があります。

成長は経済や身体だけではありません。市民活動によって地域が成長し、いろいろな形で実を結び、より地域の魅力を高められることと思います。

そのためには、皆さんの課題解決力や経験などの英知を、「地域力」として発揮いただいて、未来の成長への光の道を描いてください。

その道を記すもの、それが総合計画です。



当面の委員会日程

<第2回>

9月20日(土)14:00～
慶應義塾大学湘南藤沢
キャンパス

<第3回>

11月1日(日)14:00～
明治市民センター

<第4回>

11月29日(日)14:00～
明治市民センター

<第5回>

12月12日(土)13:00～
湘南台市民センター

<第6回>

1月24日(日)13:00～
労働会館

※日程・会場は変更することがあります。ご了承ください。

※第5回・第6回は、総合計画審議会との合同協議を同日に開催します。

ワールド・カフェとは？

ワールド・カフェとは、「歴史や文化はカフェで生まれる。」という言葉にも象徴されるように、「アイデアは、自由に会話し、行き交うことのできるカフェのような空間でつくられる。」という考え方に基づいた会議の手法です。

ワールド・カフェの思想や方法論は世界中に普及しており、さまざまな分野での活用が進んでいます。

お互いリラックスして、本音や実感を語ることができ、気軽に話せることでネットワークが自然と広がるという点も特徴です。

積極的に参加できるよう、1テーブル4～5人の小グループでの話し合いが基本となります。

通常はホストを1人置き、ホストが意見を聞きだしたり、まとめたりしながら、カフェに立ち寄る人びとの声を集めていきますが、お茶やお菓子を用意して、気軽にリラックスして話し合うことが大切です。あくまでも、いろいろな声を集めることが目的ですので、その場で何かを決めるというより、連想ゲームのように話題をひろげていくことも重要です。

社会状況の変化は一層激しくなり、複雑化していま

す。このような状況の中で課題を乗り越えるためには、個人力や知恵だけではなく、お互いに話し、理解し、共有することが重要になってきます。

難しい話題にもリラックスした前向きな気分でチャレンジしてみましょう。



藤沢市地域経営戦略100人委員会事務局(藤沢市経営企画部経営企画課)

(監修:まちづくりコーディネーター)

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

電話番号:(0466) 50-3502

FAX 番号:(0466)50-8402

電子メール: kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp